

沖縄市オープンデータ利活用推進業務 概要仕様書

1 事業概要

オープンデータの普及および利活用の促進を図ることを目的に市民自らが、沖縄市の地域課題を考え、公開データやビックデータなどを活用した沖縄市の地域課題解決に繋がるアイデアソンを開催する。

2 事業実施および契約の期間

契約締結日から令和7年3月28日（金）までとする。

3 業務内容

(1) アイデアソンの開催

市民自らが、沖縄市の地域課題を考え、沖縄市ホームページに公開されているオープンデータや、ダッシュボードなどを活用した沖縄市の地域課題解決に繋がるアイデアソンを開催する。また、次の項目を前提に、アイデアソンの内容についての提案を行うこと。

- ① 参加人数は30人程度とすること。
- ② 3回以上イベントを実施すること。（事前講座等は回数に含める）
- ③ ②の内、市民向け、学生向けに各1回は実施すること。
- ④ 沖縄市ホームページで公開されているオープンデータやダッシュボードを、アイデアソンの教材や課題解決のテーマとして活用すること。
- ⑤ ダッシュボードを用いたデータの深掘り、課題の検討などを行うこと。
- ⑥ アイデアソン全体の実施報告書を作成すること。
- ⑦ アイデアソンにて参加者が提案した課題解決のアイデアをイベント内でまとめ、課題解決提案書として提出すること。（参考様式：本市パブリックコメント様式）

(2) 開催周知・広報活動

アイデアソン開催にあたっては、より多くの参加者を募る方法を考え、積極的なPR活動、開催時期の検討を行うこととする。また、次の周知活動を前提に開催周知・広報活動についての提案を行うこと。

- ① 開催のためのチラシ・ポスター作製
- ② 沖縄市内にある各種団体へのチラシやポスター配布
- ③ 受注者独自のホームページ作成による広報活動
- ④ 受注者独自で関係性のある団体や協力団体への周知活動

- ⑤ IT 関係者や IT 分野の学部などを設置する団体等への周知活動
- ⑥ その他、開催周知・広報活動に有効だと考えられる活動

(3) アンケートの実施

事前講座及びアイデアソンの開催後、参加者を対象としたアンケートを行うこと。アンケートの実施の目的は、本事業の評価や改善に有効な分析を行うことを目的とする。アンケートの内容について、本市担当が要望する内容は、以下のとおりである。なお、アンケート回答フォームは、本市担当が LoGo フォームにて作成する。

- ① アイデアソンの効果測定が行えるアンケート内容を提案すること。
- ② アンケート全体として参加者のデータ利活用全般の意識に関する以下の回答を得られるアンケートの内容について考え方を提案すること。
 - 「満足度」
 - 「理解度」
 - 「興味関心」
 - 「意識改革」
- ③ アンケートのカテゴリは以下を想定している。
 - 「イベント内容」
 - 「教材として扱ったオープンデータ、ダッシュボード」
 - 「データ利活用」

上記カテゴリについて、②の内容を尋ねるアンケート設計の考え方について提案すること。

- ④ アンケート項目は、原則 5 段階評価で回答できる項目とすること。
なお、感想等は自由記述の設問で構わない。
- ⑤ アンケート終了後、本市が提供するアンケート回答結果を用いて、次のアイデアソンやシビックテックイベントの開催に資するアンケート結果の報告書を作成すること。
- ⑥ その他、アイデアソンの評価・分析に有効だと考えられる方法があれば提案すること。

(4) その他自由提案

上記(1)～(3)のほか、独自の提案があれば記載すること。

4 打ち合わせ

発注者及び受注者の協議の上、適宜行うものとし、必要に応じて進捗状況を報告する。また、打ち合わせはその都度議事録を作成し、相互に内容を確認する。

5 納入成果品（例）

納入成果品については次のとおりとする。

- （１）アイデアソン開催結果報告書（成功点、改善点、KPI 報告等）（電子データ）
- （２）課題解決提案書（電子データ）
- （３）アンケート結果報告書（電子データ）
- （４）その他業務上作成した資料 1 式

6 その他

本仕様に記されていない事項については、発注者及び受注者の協議の上、適宜決定する。

7 参考

沖縄市 HP パブリックコメントページ

<https://www.city.okinawa.okinawa.jp/shiseijouhou/kouhoukoucho/koucho/publiccomment/index.html>